

# 共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第2172号 2026年04月26日  
日本共産党 根室市議団  
根室市宝林町4-203 TEL0153-23-6023

|        | 線区収支(百万円) |        |      | 輸送密度   |        |      |
|--------|-----------|--------|------|--------|--------|------|
|        | 2017年度    | 2024年度 | 差    | 2017年度 | 2024年度 | 差    |
| ① 釧網線  | -1,497    | -1,919 | -422 | 374    | 378    | 4    |
| ② 花咲線  | -1,110    | -1,352 | -242 | 264    | 217    | -47  |
| ③ 富良野線 | -998      | -1,209 | -211 | 1,597  | 1,304  | -293 |
| ④ 石北線  | -4,243    | -4,999 | -756 | 891    | 669    | -222 |
| ⑤ 宗谷線  | -2,733    | -2,729 | 4    | 352    | 273    | -79  |
| ⑥ 根室線  | -1,270    | -1,100 | 170  | 428    | 457    | 29   |
| ⑦ 室蘭線  | -1,233    | -1,071 | 162  | 439    | 327    | -112 |
| ⑧ 日高線  | -426      | -414   | 12   | 449    | 388    | -61  |

※JR北海道「2026年4月15日 NEWS RELEASE」から一部抜粋し、再編集したもの

また上下分離方式のイメージとして示している鉄道資産の自治体への譲渡ですが、近年は各自治体の財政状況が急速に悪化している中で、固定資産税の減免だけならまだしも、老朽化した鉄道施設の維持・補修の財源を将来にわたって自治体が維持確保することは実際に無理だと思っています。

国交省は2024年に「事業の適切かつ健全な運営に関する監督命令」で「経営改善に向けた取組をより一層深度化及び加速化しよう命ずる」としています。しかし分割民営化を推し進めた国が行うべきはJR北海道への一時的、限定的な財政「支援」ではなく、地方の住民の足を守り生活の安定を図るために全面的な責任を負うべきです。我々としても引き続き、強く国に強く求めていきたいと思います。



## 花咲線は今後どうなるのか 上下分離方式？ 国は責任を果たせ

4月15日、JR北海道は「黄8線区を維持する仕組みの構築に向けた当社の考えについて」を公表。市町村にとつて厳しい課題の「上下分離方式」などについて、道・沿線自治体と協議を開始する、としています。

国の監督命令で2026年度末までに、線区ごとに事業の抜本的な改善方策を確実に取りまとめるため、JR北海道は道との協議のほか、黄8線区の「線区」ごとの協議を沿線市町村と行うとする工程を示しました。

2016年に「単独で維持することが困難な線区」を公表した際に、運行会社と鉄道施設等を保有する会社とを分ける上下分離方式は協議の大きな軸とされていきました。経費節減として花咲線ではこれまで初田牛、糸魚沢、東根室駅が廃止されました。利用促進策について2018年度から沿線自治体などによる「根室本線花咲線対策沿線地域連絡協議会」で協議を進めてきました。「地球探索鉄道 花咲線」というブランド戦略を掲げ、利用促進PRのサイトや動画の配信、繁忙期の2両編成、音声ガイダンスなど観光利用を中心に組みを組みを進め、昨年は「花咲線サミット」も開催されました。

根室市は2018年度から花咲線「維持確保対策事業」として、ふるさと納税を財源にこれら事業を進めました。今年度は9692万7千円を計上しています。大きな予算ですが、コロナ禍後も観光客の乗客が増えている様子を見ると、これまでの事業効果は間違いなくあったろうと思っています。

しかし現実的には花咲線の輸送密度も線区の収支も2017年度に比べて減少しています(左上図)。むしろ人口減少で学生の利用減少が進む中、観光利用の促進があったから、この程度で持ち堪えたと言えきかもしれません。

JR北海道は今年度中に抜本的改善方策をとりまとめるため、特に協議したい4項目を示しました。そのうち「担い手の確保」として、踏切の除雪、駅業務の自治体への移管等を挙げていますが、自治体職員も体制の欠員が続いている中、新たな人員確保は大変に厳しい問題です。

## イラン攻撃の完全停止、平和憲法守れ ねむろ「九条の会」など各団体が緊急アクション



4月18日、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動根室実行委員会は毎月定例の街頭宣伝を行いました。

緊急アクションと銘打った今回の行動に各団体から13名が参加し、「イラク戦争の完全な停戦を」「平和憲法を守れ」と訴えました。

いま日本の各地でも若者がペンライトを手に集まり、国際法を踏み越えるアメリカとイスラエルによるイラン攻撃、またそうしたアメリカの暴挙に追従し、さらに改憲への動きを強めている政権与党への抗議のデモ活動が広がっています。

ねむろ「九条の会」共同代表の神忠志氏は「憲法9条があるからこそ、人の命や財産を守ることが出来る。高市首相もトランプ大統領に自衛隊をホルムズ海峡に派遣すると約束できなかった」「こうした状況で私たちがただ黙っていることは、戦争への道に繋がることになる」「一言でも二言でも、『戦争反対』『平和憲法を守れ』の声を今こそ大きく挙げ、ホルムズ海峡の開放、イラン攻撃を直ちに停止させていこう」と呼びかけました。

歯舞の光明寺さん近くの道道沿いからの写真(4月16日17時ころ)。白黒印刷だと絶対に分からないと思いますが、炎が住宅地の間近に見える部分まで広範囲で広がっていました。



4月16日に瑛瑤瑠で発生した大規模な野火(草地火災)では多くの市民の皆さんも不安な夜を過ごされたと思います。

北海道や自衛隊をはじめとする各機関、道内各地の消防から多くの応援があり、また市消防職員など市職員の消火・災害対策の懸命な活動に敬意を表します。牧場や牧草地、歯舞湿原等への影響を含め被害状況等の取りまとめ作業が進められているようですが、今後の対策強化の上でも十分な検証がなされるものと思っています。

また20日の北海道三陸沖地震で被害に遭われた地域の皆様にお見舞い申し上げます。

また2回目の後発地震注意情報が発表されました。寒さ対策を含め必要な災害対策を日頃から準備したいですね。



これも白黒だから絶対に分からないと思いますが、歯舞学園の道路挟んだ向かい側にある太陽光発電所の傍からの写真。土地が一段下がった部分に樹木が植えられており、その奥の牧草地(かな?)の200mくらい先まで広範囲に真っ黒に焦げていました(4月17日)。